

## 幕末の会津

今から約140年前、日本で内戦が起こりました。いわゆる「戊辰戦争」です。福島県においても、会津地方を中心に数千名の死傷者が出ました。

幕末という近世から近代への転換期、一躍日本史の檜舞台に立った会津藩の盛衰、そしてその後の悲劇を、会津藩側からみた資料を中心にをご紹介します。

幕末の会津藩について…

1862(文久2)年、会津藩主松平容保は京都守護職に就任し、新選組等を用い京都の治安維持を担った。1867年1月30日(慶応2年12月25日)に、孝明天皇が崩御すると、薩摩藩、長州藩との対立が激化、大政奉還、王政復古を経て1868年1月27日(慶応4年1月1日)、鳥羽・伏見の戦いにより戊辰戦争が勃発。朝敵の汚名を被り、徳川慶喜がひたすら恭順する状況で旧幕府勢力の中心と見なされた会津藩は、新政府軍の矢面に立たされた。奥羽越列藩同盟の支援を受けたが、会津若松城下での戦いに敗れて降伏。白虎隊や女子隊の悲劇は有名である。領地没収の上、藩主の容保は鳥取藩預かりの禁錮刑となったが、1869(明治2)年に容保の嫡男・容大は家名存続が許され、陸奥国斗南(青森県むつ市)に斗南藩を立藩した。薩長を中心とする明治政府において、その後も不遇の扱いを受けた。

Rがついている資料は、図書館の中でご利用ください。

### 会津藩について

会津藩 (シリーズ藩物語)	野口信一 / 著	現代書館	2005年	L216/N5/3
九代225年にわたり徳川幕府を一途に支えた会津藩。「ならぬことならぬ」という会津藩精神。山国の厳しい風土の中で、純粋培養され、その精神性ゆえ幕末の悲劇に突き進むこととなった。				
吉田松陰・会津に行く	滝沢洋之 / 著	歴史春秋出版	1999年	L289/Y2/3
1852(嘉永5)年12月から翌年4月にかけて長州藩士吉田松陰は、東北地方を旅行し見聞を深めた。会津にも二度訪れ藩士と交友を図った。松下村塾を開く4年前のことである。松陰の目から会津はどのように映ったのだろうか。				
会津歴史年表	五十嵐勇作 / (ほか) 編	会津史学会	1994年	L216/A37/1
徳川將軍家と会津松平家	福島県立博物館 / 編	福島県立博物館	2006年	L069/F3/69
会津の殿さま 非運の系譜	横田新 / 著	FCTサービス出版部	1974年	L081.6/F3/2
会津若松城 土魂支えた風雪の城 (歴史群像・名城シリーズ)		学習研究社	1997年	L216/H7
学ぼう!会津若松市の歴史 小学校版, 中学校版(会津若松市郷土理解学習副読本)		会津若松市教育委員会	2005年	L216/A46/1, 2

### 京都守護職

七年史 上巻, 下巻	北原雅長 / 輯述	マツノ書店	2006年	L210.5/K1/2-1, 2
会津藩主松平容保が京都守護職に就任した1862(文久2)年から鶴ヶ城落城の1868(明治元)年まで、激動の7年間を克明に著した書。著者は、家老神保利孝の次男。長兄は神保修理。容保の側近として仕え、維新後は初代長崎市長となった人物。初版は明治37年。山口県周南市のマツノ書店が復刻。				
幕末会津藩往復文書 上, 下巻 (会津若松市史料編1, 2)	会津若松市総務部秘書公聴課市史編さん担当 / 編	会津若松市	2000年	L216/A42/3-1, 2
1863(文久3)年から1867(慶応3)年までの約870通の江戸、京都、会津間で往復された御用所の書簡控の綴り。人事、褒賞、戦争に関する書簡が多い。変遷を経て、現在早稲田大学で所蔵。				
京都守護職始末 覆刻版	山川浩 / 編述	マツノ書店	2004年	L210.5/Y1/3
稽徴録 京都守護職時代の会津藩史料	家近良樹 / 編	思文閣出版	1999年	L216/I9/1
孝明天皇と「一会桑」 幕末・維新の新視点	家近良樹 / 著	文芸春秋	2002年	210.58/I2
幕末の会津藩 運命を決めた上洛	星亮一 / 著	中央公論新社	2001年	L210.6/H7/16
会津の幕末維新 京都守護職から会津戦争 歴史編7 近世4 (会津若松市史 7)	会津若松市秘書公聴課市史編さん担当, 会津若松市史研究会 /	会津若松市	2003年	L216/A42/1-7

## 新選組

会津藩と新選組	歴史春秋出版 / 編	歴史春秋出版	2003年	L210.6/R4/2
京都動乱、会津戦争参戦など、新選組の歴史を通して会津藩との関わりを探る。新選組と幕末を訪ねる旅ガイドも掲載。				
新選組・斎藤一のすべて	新人物往来社 / 編	新人物往来社	2003年	L289/S160/1
新選組三番組長、撃剣師範であった斎藤一(はじめ)。会津戦争において土方歳三と意見を分かち、会津に残った彼は、戦後藤田五郎と変名し、会津人として生きる道を選ぶ。斗南開拓の後、警視局に入り西南戦争に参加。公職を経て、1915(大正4)年9月没。享年72歳。遺命により、その墓は多くの会津藩士たちが眠る会津若松市七日町阿弥陀寺にある。				
敗者から見た明治維新 松平容保と新選組	早乙女貢 / 著	日本放送出版協会	2003年	L210.6/S22/2
新選組と会津藩 彼らは幕末・維新をどう戦い抜いたか	星亮一 / 著	平凡社	2004年	L210.6/H7/18

## 戊辰戦争(会津戦争)

R	三百藩戊辰戦争事典 上,下	新人物往来社 / 編	新人物往来社	2000年	L210.61/S2/1,2
戊辰戦争の勃発により、全国大小三百藩の藩主・藩士たちは、新政府側あるいは旧幕府側のどちらに従うか決断を迫られる。上巻は北海道・東北・関東・北陸・甲信越・中部地方を、下巻は近畿・中国・四国・九州の諸藩の動向を詳細に追う。					
	戊辰役戦史 上巻,下巻 補訂版	大山柏 / 著	時事通信社	1988年	L210.6/O4/2-1,-2
著者である大山柏は、陸軍軍人、考古学者。大山巖(薩摩藩出身)・捨松(会津藩出身)夫妻の次男。					
	会津戦争全史	星亮一 / 著	講談社	2005年	L210.6/H7/23
白虎隊、斗南藩の「悲劇」はなぜ起こったか。容赦ない攻撃と略奪に明け暮れる薩長軍。非戦闘員も動員し藩を挙げて玉砕した会津軍。正義なき内戦の真実を、膨大な史料から詳述。					
	会津藩戊辰戦争日誌 上,下	菊地明 / 編	新人物往来社	2001年	L210.6/K11/2-1,-2
1868(慶応4)年1月~1868(明治元)年10月間の会津藩の日々の足跡を、同時代史料を中心としてまとめたもの。					
R	会津戊辰戦争史料集	宮崎十三八 / 編	新人物往来社	1991年	L210.6/M3/3
	会津藩幕末・維新史料集 会津北書	川口芳昭 / 編	おもはん社	2005年	L210.6/K15/1
	会津戊辰戦争 復刻版	会津戊辰戦争史編纂会 / [編], 山川健次郎 / 監修	マツノ書店	2003年	L210.6/A3/2
	会津戊辰戦争 改訂増補版 増補 白虎隊娘子軍高齢者之健闘	平石弁蔵 / 著	丸八商店出版部	1928年	L210.6/H1/1
	奥羽越列藩同盟 東日本政府樹立の夢	星亮一 / 著	中央公論社	1995年	L210.6/H7/10
	戊辰の時代 会津戦争始末記	永岡慶之助 / 著	歴史春秋出版	1990年	L210.6/N1/8
	会津戦争のすべて	会津史談会 / 編	新人物往来社	1980年	L210.6/A10/1
	戊辰白河口戦争記 復刻	井上幸雄,金子誠三 / 訳注 佐久間律堂 / 著	戊辰白河口戦争記復刻刊行会	1988年	L210.6/S4/2
	会津戊辰戦争写真集	菊地明,横田 淳 / 編著	新人物往来社	2002年	L210.6/K11/3
R	戊辰戦争殉難者に関する調査報告書 会津若松市文化財調査報告書第23号		会津若松市教育委員会	1993年	L709/A1/2-23
	図説・幕末戊辰西南戦争 決定版 (歴史群像シリーズ)		学研	2006年	L210.6/G3/2

## 白虎隊・日新館

補修 会津白虎隊十九士傳 [復刻]	宗川虎次 / 編, 山川健次郎 / 補修	マツノ書店	2006年	L281.6/A2/4
白虎隊と会津武士道	星亮一 / 著	平凡社	2002年	L216/H5/4
会津白虎隊のすべて	小檜山六郎 / 編	新人物往来社	2002年	L210.6/K12/1
史実会津白虎隊	早川喜代次 / 著	新人物往来社	1976年	L210.6/H6/1
会津藩教育考 (続日本史籍協会叢書)	小川涉 / [著]	東京大学出版会	1978年	L210.58/N6/249
よみがえる日新館童子訓 ならぬことはならぬ	会津藩校日新館 / 編	会津藩校日新館	1996年	L159.5/Y

## 戊辰戦争(会津戦争)後について

ある明治人の記録 会津人柴五郎の遺書	柴五郎, 石光真人 / 編著	中央公論社	1971年	L289/S32/1
義和団事件での水際立った采配が世界から賞賛され、後に陸軍大将となった柴五郎。彼が少年期に会津そして斗南で体験した俘虜、流浪、開拓生活を遺文として綴った書。				

幕末の会津と若松市の成立 近代化への道	若松城天守閣市制百周年記念特別展実行委員会		1999年	L216/W4/1
会津・斗南藩史 新訂	葛西富夫 / 著	東洋書院	1992年	L216/K9/4
ある会津藩士の生涯 斗南藩悲話	葛西富夫 / 著	FCTサービス出版部	1975年	L081.6/F3/7
幕末、明治に生きる会津の女性	会津武家屋敷文化財管理室 / 編	会津武家屋敷	1982年	L281.6/A7/1
会津人の書く戊辰戦争	宮崎十三八 / 著	恒文社	1993年	L216/M4/3
会津人が書けなかった会津戦争 会津への手紙	牧野登 / 著	歴史春秋出版	1997年	L216/M6
戊辰怨念の深層 萩と会津、誇り高く握手を	畑敬之助 / 著	歴史春秋出版	2002年	L081.6/R1/63
よみなおし戊辰戦争 幕末の東西対立	星亮一 / 著	筑摩書房	2001年	L210.6/H7/15

## 幕末会津の人物情報 \*保科正之、松江豊寿に関しては、本の森への道しるべ「郷土が誇る先駆者たち」をご覧ください。

R 幕末維新人名事典	宮崎十三八, 安岡昭男 / 編	新人物往来社	1994年	281.03/M8
ペリー来航の1853(嘉永6)年から、西南戦争終結の1877(明治10)年までの25年間に活躍した日本全国およそ8293人の人物事典。				

会津人物文献目録 [1], 2	野口信一 / 編纂	歴史春秋社, 歴史春秋出版	1980, 92年	L281.6/N3/1, 1-2
2冊あわせて5401項目の個人伝、及び家伝を収録。会津の人物調査の必携資料。				

幕末・会津藩士銘々伝 上, 下	小檜山六郎, 間島勲 / 編	新人物往来社	2004年	L281.6/K5/1-1, -2
幕末、会津籠城戦に敗れ散っていった名将、名参謀たち。秋月悌次郎、飯沼貞吉、井深宅右衛門、日向内記、佐川官兵衛、佐々木只三郎、柴五郎、外島機兵衛ほか、会津魂を貫いた悲劇の生涯を綴る。				

慶応年間 会津藩士人名録 附 斗南藩職員録 若松県職員録	会津郷土資料研究所 / 編	勉強堂書店	1992年	L281.6/A10/1
会津の人物 会津若松市史 18 文化編5	会津若松市企画政策部秘書公聴課市史編さん担当 / 編	会津若松市	2005年	L216/A42/1-18
会津戦争の群像 日本の近代への夜明け! 悲愴なる物語	前田宣裕 / 著	歴史春秋出版社	1996年	L281.6/M7
悲劇の会津人 物語	新人物往来社 / 編	新人物往来社	1990年	L281.6/S3/1
会津藩の女たち 武家社会を生き抜いた十人の女性像	柴桂子 / 著	恒文社	1994年	L281.6/S4/1
獅子の時代を生き抜いた 会津の群像	小島一男 / 著	歴史春秋社	1981年	L281.6/K3/1

松平容保のすべて	網淵謙錠 / 編	新人物往来社	1984年	L289/M12/3
松平容保の生涯 写真集	小檜山六郎 / 著	新人物往来社	2003年	L289/M12/10
西郷頼母 幕末の会津藩家老	堀田節夫 / 著	歴史春秋社	1993年	L289/S45/5
会津藩最後の首席家老 梶原平馬・その愛と死	長谷川つとむ / 著	新人物往来社	1992年	L289/K61/1
会津将軍山川浩	星亮一 / 著	新人物往来社	1994年	L289/Y11/2
R 男爵山川先生遺稿	山川健次郎 / 著 山川男爵記念会 / 編	岩波書店	1937年	L289/Y9/1
逆風に生きる 山川家の兄弟	中村彰彦 / 著	角川書店	2000年	L289/Y11/3
海老名季昌・リンの日記 幕末・明治を記録した夫婦	玉川芳男 / 編著	歴史春秋出版	2000年	L289/E8/1
山本覚馬 伝記・山本覚馬 (伝記叢書)	青山霞村 / 著	大空社	1996年	L289/Y17/5
秋月悌次郎 老日本の面影	松本健一 / 著	作品社	1987年	L289/A11/3
犢(こうし)を逐(お)いて青山に入る 会津藩士・広沢安任	松本健一 / 著	ベネッセ コーポレーション	1997年	L289/H34/2
中野竹子と娘子隊 会津戊辰戦争と娘子隊長中野竹子史話	水沢繁雄 / 著	歴史春秋出版	2002年	L289/N4/2
史伝西郷四郎 姿三四郎の実像	牧野登 / 著	島津書房	1983年	L289/S54/2

## 小説

会津士魂 1 - 13, 続1 - 続8	早乙女貢 / 著	新人物往来社	1985-2001年	L913.6/S26/1-1,-21
天皇に忠を、幕府に孝を尽くした会津藩主従が、なぜ朝敵の汚名を被らねばならなかったか。そしてその後長く続く悲劇の真相を描いた大河歴史小説。吉川英治文学賞受賞作品。				

王城の護衛者	司馬遼太郎 / 著	講談社	1968年	L913.6/S19/1
王城の護衛者としての使命を、唯一の支えにして、激動する幕末の難局に棹さした会津の青年藩主、松平容保が政治の権謀術数に翻弄される悲劇の生涯をつづる名作。				

戊辰落日 上,下	網淵謙錠 / 著	文芸春秋	1984年	L913.6/T5/2-1,-2
明治前夜 歴史小説	佐藤民宝 / 著	歴史春秋出版	1994年	L913.6/S1/7
落花は枝に還らずとも 上,下 会津藩士・秋月悌次郎	中村彰彦 / 著	中央公論新社	2004年	L913.6/N6/20-1,-2
流星雨	津村節子 / 著	岩波書店	1990年	L913.6/T17/1
愛の山河 会津落城悲史	梁取三義 / 著	彩光社	1980年	L913.6/Y1/7
会津農兵隊始末記	星亮一 / 著	広済堂出版	1998年	L913.6/H8/3
大逆説! 戊辰戦争 上,下	志茂田景樹 / 著	光文社	1992年	L913.6/S43/1-1,-2
会津異端の系譜	北篤 / 著	新人物往来社	1991年	L913.6/K3/3

会津の小鉄 上,下	飯干晃一 / (著)	角川書店	1986年	L913.6/I2/2-1,-2
京都守護職会津藩の中間となり尽力した侠客会津小鉄。戊辰の後も長く金戒光明寺にある会津藩士の菩提を弔う。『仁義なき戦い』の著者による幕末任侠小説。				

## ホームページ

会津若松市(歴史・人・文化) 人物情報が充実。
ホームページアドレス: < <a href="http://city.aizuwakamatsu.fukushima.jp/j/rekishi.htm">http://city.aizuwakamatsu.fukushima.jp/j/rekishi.htm</a> >

会津若松市観光公社 鶴ヶ城はもちろん、幕末の会津をわかりやすく紹介したページもあり。
ホームページアドレス: < <a href="http://www.tsurugajo.com/">http://www.tsurugajo.com/</a> >

## 施設のご案内

会津武家屋敷	場所: 会津若松市東山町大字石山字院内1 電話: 0242-28-2525
開館時間: 4月~11月 午前8時30分~午後5時 12月~3月 午前9時~午後4時30分 年中無休	

白虎隊記念館 白虎隊自刃の地である飯盛山も近い	場所: 会津若松市一箕町大字八幡字弁天下33 電話: 0242-24-9170
開館時間: 4月~11月 午前8時~午後5時 12月~3月 午前8時30分~午後4時30分 年中無休	

金戒光明寺	場所: 京都市左京区黒谷町121 電話: 075-771-2204
浄土宗大本山である金戒光明寺は京都守護職本陣の旧跡。敷地内には会津藩殉難者墓地があり、350名以上の関係者が供養されている。ホームページアドレス: < <a href="http://www.kurodani.jp/top.html">http://www.kurodani.jp/top.html</a> >	

## 幕末会津の視聴覚資料 \*視聴覚室でござんください

白虎隊 前篇・後篇 日本テレビ時代劇スペシャル第二弾	日本テレビ / 制作	パップ	[2000]年	DV770/N1/1
森繁久彌主演、里見浩太郎、西田敏行、丹波哲郎、中村雅俊など豪華キャストで放映したTV番組。				

街道をゆく 9 奥州白河・会津のみち, NHKスペシャル	司馬遼太郎 / 原作	NHK	1999年	V900/K1/1
会津高等学校伝統 白虎隊剣舞解説		会高剣舞会	1991年	V760/K